

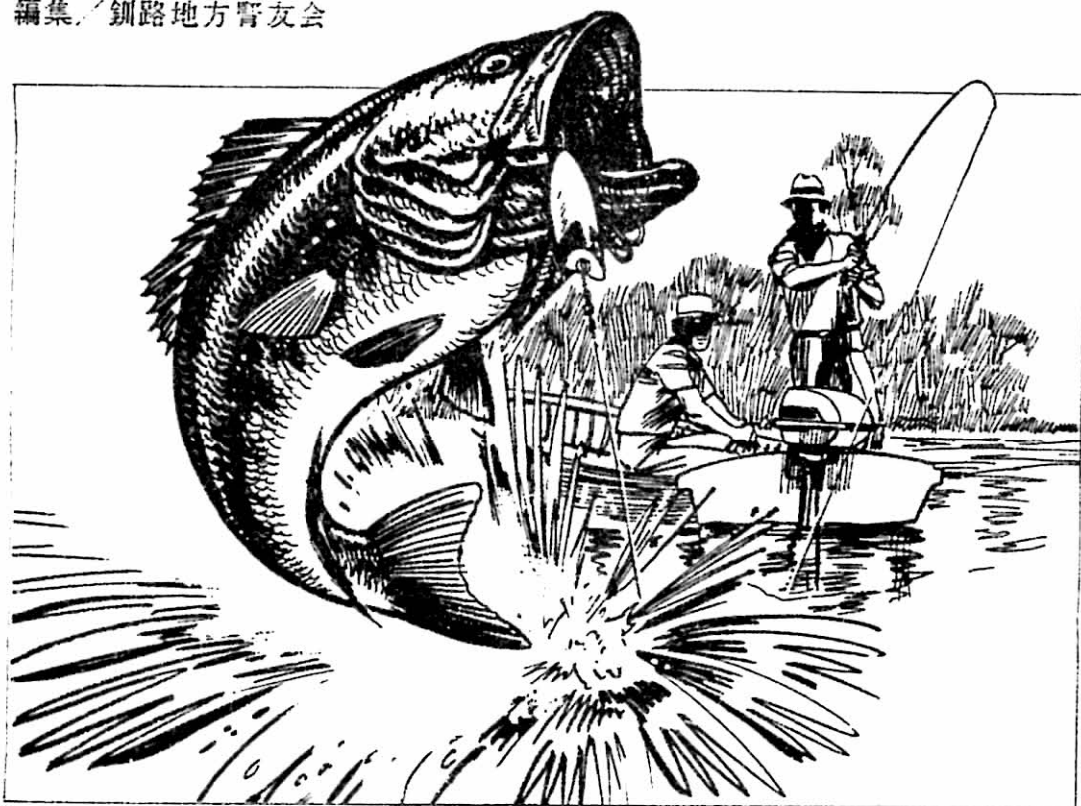
昭和48年1月13日 第3種郵便物認可 HSK通巻222号 平成2年10月10日発行
毎月1回10日発行 1部100円 発行・北海道身体障害者団体定期刊行物協会 編集・釧路地方腎友会

たんちよう

No. 117
10月号

HSK

編集／釧路地方腎友会



【目次】

シャント・・・今後の行事・活動	1・2
市立病院レクリエーション終わる	木村 俊・奈良達也 3・4
伊藤勇市院長（市立病院）退職	木村 俊 4
偲ぶ・・・	橋本 巖 5
こんなお店	金井 英雄 6
透析10年表彰者	6
先生の横顔	7
クロスワード・クイズ	8
会員の動向	9

今後の行事・活動

釧路協会長・上田 弘

今や「実りの秋」「果樹が美味しい」時期であります。そして、各団体では冬將軍を前に各種活動が活発となる時期でもあります。今年のこれらの関係する活動・行事を列記してみました。



現在掌握している分は、以上のとおりですが、簡単に行事の内容についてお知らせします。

- ・九月十日
機関誌「たんちょう」臨時号発行
- ・九月三十日
難病連理事會・札幌
- ・十月五日
年賀・喪中活動の見本帳完成・取り組み開始
- ・十月七日
全国一斉腎キャンペーン・釧路
- ・十月十日
機関誌「たんちょう」発行
- ・十月十三・十四日
釧路會一泊旅行・養老牛温泉
- ・十月十三日
道腎協運営委員會・札幌
- ・十月十九・二十日
釧路市健康まつり
- ・十月二七・二八日
道腎協幹事會・交流会・札幌
- ・十月二八日
難病連釧路支部レクリエーション・茅沼
- ・十一月一日
年賀ハガキ発売
- ・十一月四日
釧路會秋の會合
- ・十一月五日
パーキンソン病医療講演會・釧路
- ・十一月十日
バージャー病道東支部設立總會・釧路
- ・十二月十日
機関誌「たんちょう」発行
- ・十一月一日からです。

年賀状の見本帳が完成します。今年も腎友會に注文して下さった方々に、會について理解をしていただき、さらに今年の年賀・喪中ハガキの印刷のお願いを、機関誌「たんちょう」の臨時号を発行して行っています。取り組みの細部については、後日事務連絡でお知らせしますが、會員各位の協力を宜しくお願いいたします。なお、今年の年賀状の発売は十一月一日からです。

腎キャンペーンは例年行われているものであり、全国一斉に行われます。

今年度は次の三つを目標としてキャンペーンに取り組むこととしています。

①啓蒙活動だけでなく、実質的なバンク登録を目指す。

②関係団体と協力して進める。

③家族登録を進める。

なお、平成二年六月現在の北海道での腎提供登録者数は一〇、九六四名で、また腎移植希望者数は三八九名となっています。

鉦腎会の一泊旅行は、市役所の福祉バスを利用して、中標津の養老牛温泉に行きます。道東地区の交流会は秋には実施されませんが、根室地方腎友会の方が何名か一緒に参加する予定です。



鉦路市健康まつりは、毎年「腎コーナー」を設置していただき、腎友会役員による「啓蒙活動」と「ドナー拡大」を目指し参加しています。難病連鉦路支部でも「患者相談会」を行うことになっています。

十月二八日の道腎協交流会では、講演会があります。講師は倉島 斎（作家）氏で、演題は「日本人の物差し、外国人の物差し」です。会員の方で参加を希望される方は、各病院の役員まで申し出て下さい。



昨年阿寒の「赤いベレー」で行った、難病連鉦路支部のレクリエーションは、今年は茅沼温泉に行くことになりました。他の病気の方々と交流する良い機会だと思います。一人でも多く参加してみても如何でしょうか。二十人以上になると茅沼温泉でバスの送迎があるようです。

鉦腎会の秋の会合は川北町の「身障センター」で午前中に行われ、既に申請済みの通院交通費の支給と各種の打ち合せを行います。

午後からは同じ会場で、パーキンソン病の医療講演会が行われます。講師に札幌・北祐会神経内科病院・浜田院長をむかえ、「パーキンソン病の治療と日常生活」についてお話ししていただきます。興味のある方はどうぞ午後の医療講演会にも参加してみませんか。

パージャー病の道東地区をまとめた組織が十一月二五日に福祉会館にて結成総会が行われます。組織人員はまだ少ないようですが、今後の活発な活動を期待したいものです。

休む暇なく各種の行事や活動が計画され、さらに重複して計画の日もあります。体調に充分気を付けて、計画性をもって今後の行事・活動に参加されるようお願いいたします。

市立病院レクリエーション終る

シーグレースに乗船して 木村 俊(市立病院)

九月二日、市立病院独自のレクリエーションとして、シーグレース号に乗り、霧多布まで行く予定だった。人数も思ったより集まり、いざ乗船の時間に近づいてくると、何という事か今日は波が高いので霧多布までは無理で、せいぜい港内一周以外は船は出せないという事になった。

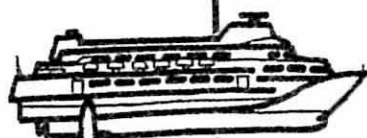
何せ急な事なので集まった人には了解を求め一度集めたお金も安くなくなった分を返し、どんより曇った空の中を出発した。乗船した当初は珍しさもあり、船もゆれなかったので部屋の中から外に出たり、歩き回っていたが、そのうちに波が荒くなり、船の中も歩けなくなるとなんとなく気分もすぐれず私は席を立つ事も昼食を食べる事も出来なくなってしまった。他の人々は幸いにも船酔した人も目に入らなかったのも本当に良かったと思つた。

あらかじめ病院から出してもらった酔い止めの薬を全員に配布したので良かったのかも知れない。

あの様な天候では、四時間かかって霧多布を回るより、二時間で港内一周が丁度良かったのかも知れない。

お弁当を食べ、おやつもあたって、船の中では飲物も売っており、船も新しくきれいだったし、皆に喜ばれれば言うことはない。

私が一番嬉しかったのは、今まで何処



シーグレース乗船記

奈良 達也(四五才) (市立病院) 透析歴五ヶ月

九月二日「日曜日」、我ら市立病院グループは、佐藤信洋幹事が絶対の自信を持って企画立案した、遊覧船「シーグ

レース」による霧多布周遊レクに集合したが……。まず最初のハブニングはコースの変更

であった。当日は高波のため西港周遊となり、従って時間も予定の半分、二時間に短縮となったのである。グループの中は賛否両論であったが、私は正直言ってホッとした。もともと霧多布であろうが西港であろうが、ただの船である。短いに越した事はないというのが私の本音であった。

さて間もなく出航した船は、穏やかに我ら運び、船内もまたなごやかな一瞬であった。しかし、それはつかの間の安らぎでもあった。突然、船は激しくローリングを始め、船内の我らほもちろん、他の客も含め騒然となった。前方を見て

いた私は、テレビの場面を見た事のあるような船首がグリーンと下がっていきありさまに恐怖を覚え、それを他人に悟られないよう、落ち着いた素振りの見栄をはる事に務めた。その時、一緒に連れて行った小学五年生の息子が前席から振り返り「パパこの船、本当に大丈夫なの」。聞かれた私は無言で、ただうなずくのが勢一杯であった。佐藤幹事は既にその役務を自ら放棄していた。日頃は佐藤氏のリーダーシップに心から敬服しているが、いかんせん肉体の弱さにはさすがの佐藤氏もどうしようもなく、これもまた私は心から同情する。

そんな訳で、洋上のロマンを求めたイメージは散々たる結末を迎えたが、それはそれ、我らもあの「シーグレース」の様にこれからの波乱万丈の人生を雄々乗り切って行かなければならないという事を教えられた……。

私だけかも知れないけれど、素晴らしいレクだったと思っておりますので、佐藤さん今後よろしく……。

伊藤勇市院長退職

釧路市立病院の院長である伊藤勇市先生が七月いっばいで退職されました。院長先生と同時に我々の主治医、そして長い間お世話になり、透析により生命をよみがえして戴いた思いは皆同じだと思えます。

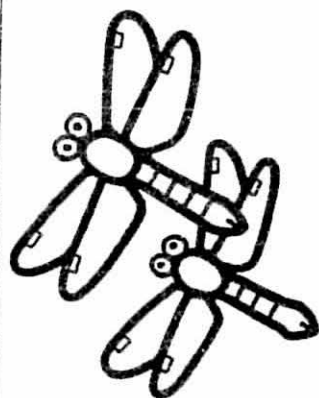
何一つお返しも出来ずお別れする事に

なった事に心残りでもありません。

私達腎友会では市立病院の有志から集めたお金で花束とライターを買い、寄書きを持って佐藤信洋氏と私、木村 俊が代表で伊藤先生の家を訪問しました。先生は少し赤い顔をしておられました。とても喜ばれ皆さんにくれぐれも宜しく

との事でした。

退職後の生活は、北海道新聞に載りましたので、皆さんもよく御承知だと思いますが、二、三ヶ月は奥様と旅行等をして、身体を充分休め、その後ポツポツと民間の病院に勤めるとの事ですので、またどこかで再会出来る事でしょう。



偲ぶ……！！

晴天の霹靂ということばがありますが、今回の忠村さんの突然の訃報がまさにそれでした。

2・3日前まであれほど元気になっていた忠村さんがもうこの世の人ではないなんて信じられない気持ちでした。でも、忠村さんの自宅で安らかに眠っているその姿を見て、いやでも納得させられたのでした。体中の力が抜けてしまい、何も考えられなくなってしまいました。

葬儀の後、数日間はとても寂しい気持ちで過ごしました。

ぼくが忠村さんと初めてあったのは、透析に入ったばかりの昭和57年の新年会の時でした。その時の第一印象は『鋭い目をした人だなあ。』ということでした。気安く話しかけたなら怒られそうな雰囲気を持っておられました。ところが、話しかけてみると以外に気さくで兄貴のような人だということがわかりました。

その後、ぼくが林田クリニックに移ってからは心電図、胸部写真を撮ってもらったのを始め、いろいろな面でお世話になりました。人あたりがさっぱりしているので話をしても楽しく、冗談をいっては笑わせてくれたものです。

また、腎友会では役員を快く引き受けてくれて会員のために一生懸命やっておられました。役員会のなかでの発言はキッパリとしていて、ほかの役員が迷っていると正しい方向を示してくれました。細かいことにこだわらず、大きな視点で物事を判断する人でした。

会報「たんちょう」の編集作業も人が集まらないときでも一人で印刷を引き受けてやってくれたことも度々でした。そのことで愚痴を言うわけでもなく、淡々としておられました。

僕には真似のできないことでした。一緒に作業をしていた東さんや金井さんにとって、口では表現できないほど辛い出来事だったと思います。

でも、いつまでも悲しんでばかりいると『何やってんだ。』と忠村さんに叱られるので元気を出していかなければなりません。

私たち透析患者は気をつけていても、病気のほうは容赦してくれません。今まで以上に自己管理に努め、長生きするように頑張りましょう。

忠村さんのご冥福を心からお祈り致します。

事務局長 橋本 巖

こんな
お店です!

カフェ&レストラン

自由時館

釧路市愛国東一・五・一五
電話三六・一三二一



今日紹介するお店は、カフェ&レストラン「自由時館」(じゆうじかん)です。お店の営業は一〇年以上になり、マスター・コックさんがおり、良く出るおすすめメニューは、ドリヤ・ビザなど。またカクテルも用意してあります。店内は落ち着いた感じで、BGMが流れており、ゆったりくつろげます。夕方からはOLなど若い人達が多いそうです。

カウンター五席、テーブルは四〇席ぐらいあり、夜になると店のカンバンにネオンがつき、なかなかステキです。定休日は第一・三の月曜日で、営業時間は、午前一〇時から深夜一時までの一五時間です。店の裏には駐車場も用意してあります。

透析十年表彰者

今年度の十年表彰者は、透析開始が昭和五十四年十一月二十七日と昭和五十五年十一月二十六日までの方で次の通りです。

- 坂本 光子(市) 五五・一・二三
- 藤原 一文(協) 五五・二・二〇
- 斉藤 昭作(林) 五五・二・二七
- 渡辺 喜久(林) 五五・三・四
- 高野美智子(厚) 五五・三・十一
- 菊池はつえ(協) 五五・三・十七
- 長岡 久雄(林) 五五・三・二五
- 大友 元次(林) 五五・四・一
- 長屋と志子(市) 五五・六・十七
- 木口八重子(林) 五五・七・二九
- 酒井 健一(林) 五五・十一・二二

以上、十一名の方々です。

なお、今年度の十年表彰に該当されの方(会員)が居りましたら、至急各病院の役員に連絡下さい。

先生の横顔

はやしだ のりかず
林田 紀和 (50歳)

林田クリニック院長
昭和54年7月1日開院

◎出身地
釧路市

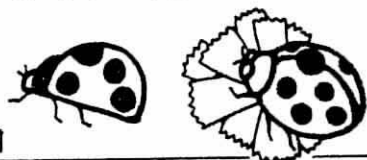
◎出身校
旭小学校・北中学校・江南高校
北海道大学医学部

◎趣味
ゴルフ・映画鑑賞・勉強

◎生活信条・好きな言葉
「鬼手仏心」
「努力と継続は力なり」

◎患者・腎友会へ一言
現在、リンとβ2・ミクログロブリンが毒素として注目されていますが、これらは10年位の長い年月を経て毒素の作用が顕著になるという慢性の毒素と考えて良いと思います。しかし「水分塩分」は最悪の毒素であり、これは現在の死因の70%を占める急性の毒素と思います。いくらダイアライザーや機器が発達しても、現在以上に「水分塩分」の制限は緩められないと思います。これは、自分が気を付ければ幾らでも低く抑えられます。しかし、β2・ミクログロブリンは現在のところ、患者さん自身が気をつけてもどうにもならないものです。

この記事は、市立病院で透析を受けている稲岡良子さんが、とても良い記事なので、皆さんに読んでほしいと云う事で寄稿されたものです。



夏月 三

多賀城市 白石 永 (学生 21歳)
父が腎不全で倒れたのは昨年の七月。それ以来ずっと人工透析を続け、身障者として余生を歩むことになったのです。透析には一回四時間ほどかかるため、週に三回は午後五時前に職場を離れなければなりません。そのために職場では肩身の狭い思いをするようになりました。それはかりでなく、透析は食生活を始め様々な面で父の生活を制限しました。登山の趣味も断られました。

そんな父が南アルプスの最高峰、北岳に登る計画を立て、毎朝ランニングを続けて準備しました。その後、山に近い甲府市内で透析できる。また、同行した母の要も許可がおりたこと一気に実現した。今回の登山の成功は、夢を抱き、夢の実現に向かって生きようとした父の姿勢にあったと思えます。父は健康する前に、透析と上手につきあひ生き方に切り替えたのです。父の再起が、家庭の雰囲気を一層明るくしました。

病押して登頂 父の姿に感動

透析の生活が父の肉体を弱らせ、人の二倍以上の時間がかりましたが、日本第二位の頂に立つことができました。

原稿募集。

みんなの機軸紙「たんちよう」!!
お気軽に原稿をお寄せ下さい。
お待ちしております。
何んでもOK!!

編集室



Challenge

57

ビジネス
クロスワ
ード

解き方

各マスにカタカナを一文字ずつ入れてください。最後にローマ字のあるマスの七文字をABC順につなぐと、答えの言葉がでます。

ヒント

ペコペコして
います。



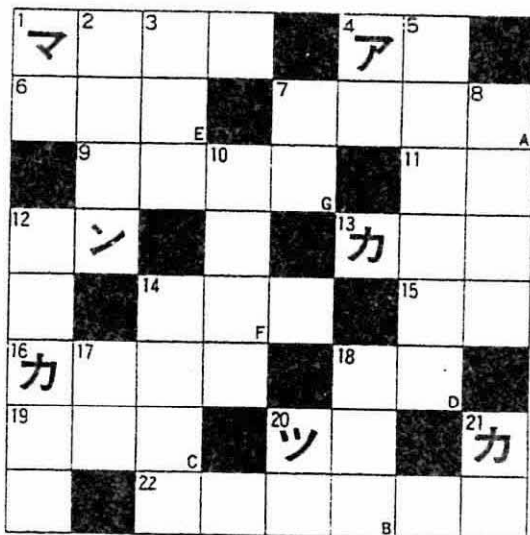
八月号のクロスワード・クイズの答え

【ヨットハーバー】でした。

今回の応募者は二六名でした。

抽選で次の十名の方に記念品を差し上げます。

林 喜久雄(林) 小涼 東(厚)
石橋 清春(林) 山本 君子(厚)
伊達 千代子(林) 高橋 由起一(厚)
本間 考司(林) 西川 寛(厚)
藤原 一文(協) 佐田 俊夫(厚)



下記の応募用紙、又は、ハガキに
答えを書き下記編集部まで
正解者の中から抽選で、10名様に
記念品を差し上げます。

◎正解・当選発表は12月号で

◎締切は、11月15日(木)必着

◎宛先は、釧路市川北町4-17

身体障害者福祉センター内
釧路地方賢友会編集部まで

ヨコのガキ

- ①オリンピックの人気種目、女子のちもあります。
- ②「進んで可」の色。
- ③お馬のかけっこです。
- ④食卓に出てくる細長い箱。
- ⑤相撲部屋の監督、コーチ役をつとめる人。
- ⑥埼玉、千葉など。東京や大阪は違います。
- ⑦蛇は——にして人を呑む。
- ⑧「君といつまでも」といえば——雄三。
- ⑨BWHの三つのうちの「H」です。
- ⑩風雨で音が飛ぶこと。
- ⑪かまぼこもオトなの?
- ⑫マーじゃんなどでは——のな日はどうしても勝てない。
- ⑬円舞曲です。
- ⑭むざむら帽子のは大きい。
- ⑮船には、万一の場合に備えて定員分の——が用意されている。

タテのガキ

- ①降参、おれの——だ。
- ②白狐の手です。
- ③天井、カツ井などもある店。
- ④人間は考える——である。
- ⑤ソリツとすゝ見世物小屋。
- ⑥オリンピックで橋本も上げた日の丸の——。
- ⑦その道に詳しい人。
- ⑧栗の中のささずな道具。
- ⑨抜気が弱かなくなつて降参。
- ⑩宝舌の属その単位。
- ⑪自陣しをしてやるから面白いのですよ。
- ⑫約三十日間をいいます。
- ⑬正しい音楽につくし。
- ⑭日本のプロ野球にも一羽いるツリです。

氏名	病院名	A	答
		B	
		C	
		D	
		E	
		F	
		G	

【新患者】

野口 広子

釧路市

高野 アキ

厚岸郡厚岸町

倉品八十治

釧路市

久保 敏子

釧路市宮本町

高橋 トキ

根室市東梅

成田 竹治

釧路市

小山 勝男

釧路市掘川町

伊藤 喬

釧路市旭町

桜井 新一

釧路市

大久保千尋

釧路市

江口 豊二

釧路郡釧路町

目黒 良子

別海町

高野 隆二

釧路市

千田 勇

釧路市

沢田 尚吾

釧路市

中村ナヲエ

釧路町

杉谷 フミ

釧路市

【転院】

大熊 佳子(林~泌)
藤原 久雄(市~泌)
藤田 典雄(協~泌)

【死亡】

加藤 博(泌)
平成2年8月5日

忠村 敏(林)
平成2年8月24日



昭 和 四 十 八 年 一 月 十 三 日 第 三 種 郵 便 物 認 可
H S K 通 巻 二 二 二 号 平 成 二 年 十 月 十 日 発 行 毎 月 一 回 十 日 発 行 一 部 百 円
発 行 ・ 北 海 道 身 体 障 害 者 団 体 定 期 刊 行 物 協 会
H S K 協 集 ・ 釧 路 地 方 賢 友 会